



## 🔍 聞いてみました①

なぜ内定者アドバイザーになろうと思いましたか？

## 🔍 聞いてみました②

アドバイザーとしてどのような活動をしましたか？

## 🔍 聞いてみました③

アドバイザーになってよかったことを教えてください

2021 年度の「内定者スタッフ仕事説明会」は7月12日(月)、渋谷校にて開催！



内定者スタッフ仕事説明会

7月12日(月) 14:00～16:00 (終了予定) @TAC渋谷校

一緒に後輩受講生のサポートをしませんか？  
皆さまのご参加を、心よりお待ちしております。

### 募集要項

TAC・Wセミナー受講生(本科生限定)のうち、  
2021 年度国家総合職試験 内々定者

### 説明会 内容

①内定者スタッフの業務内容 ②内定者スタッフ登録のご案内  
③合格体験記・試験復元のご案内 ④簡単な面談 ⑤写真撮影※

※試験説明会で撮影させていただいた写真は、次年度の国家総合職講座パンフレット・合格体験記等で  
使用させていただく場合がございます。予め「証明写真」をご用意いただいても構いません。

### 予約方法

～資料準備のため、事前予約にご協力をお願いいたします～  
7月12日(月)9:00am までに、下記内容を添えて国総受講生用メールアドレスへご連絡ください。参加人数を把握するためのものですので、返信はいたしません。  
予めご了承ください。

✉タイトル

【21 国総】仕事説明会予約

本文

①氏名、②会員番号、③内々定省庁名

メールアドレス [kokusou@tac-school.co.jp](mailto:kokusou@tac-school.co.jp)

★当日の参加が難しい方は、7月13日(火)以降に上記メールアドレスまで、内定者スタッフ登録に関する必要書類をお取り寄せください。遠方にお住まいの方のご登録も大歓迎！(遠方にお住まいの方はオンラインイベントでのフォローなど、スポットでのお仕事となります)

## なぜ内定者アドバイザーになろうと思ったか？

### 沖 皐津紀さん ★シ

国家公務員の就職活動はとにかく情報があまりなく、不安を抱えている受験生が多いと感じたからです。自分自身、大学の先輩や TAC の内定者アドバイザーの方々にカウンセリングや HR 等を通じて、多くの不安や疑問点を解消していただきました。TAC の受講生のなかには周りに国家公務員就活をした先輩がいないというケースもあると思い、特に情報の少ない官庁を訪問した経験者として、受験生の不安を解消できるような正しい情報をお伝えしていきたいと考え、内定者アドバイザーをやろうと決めました。

### 尾崎 弘彬さん ★シ

就活も終わって丁度新しいアルバイトを探していました。これまで飲食店でしかアルバイトをしていなかったのも、パソコンを使ったアルバイトをしたいとおもっていました。また、自分自身が試験対策や官庁訪問対策を行っていた際に、たくさんの方々に支えていただいたので、その恩返しとしてノウハウを後輩に引き継ごうと思ったからです。

### 鈴木 悠花さん ★シ

私は受験生時代から HR に参加しており、その時に LA の先輩方に助けてもらった経験がありました。そのため自分がその立場になれるチャンスがあれば、ぜひ LA になりたいと思っていました。他のアルバイトとの両立が不安でしたが、特に困ることもなく半年間過ごせました！

### 中村 美理さん ★シ

受験生時代、私は何度か官庁訪問シミュレーションや相談コーナーで内定者アドバイザーの方にお世話になりました。アドバイザーの方々のご指導のおかげで無事に内定をいただくことができたので、私も受験生にお手伝いが出来たらと思い、内定者アドバイザーをやろうと決めました。

### 守安 剛崇さん ★シ

二点あります。一点目は、国総を目指している受講生をサポートしたいという思いからです。私は、国総の試験に向けて苦勞することが多々ありました。その際、ホームルームやカウンセリングに足を運ぶと、内定した憧れの先輩が親身になって相談に乗ってくれて、次の日から頑張ろうという気持ちになりました。自分がそういう存在になれたかは別として、少しでも受講生の一助になればいいなという思いがぼんやりとありました。

二点目は、自分自身の経験や考えをブラッシュアップしたいという思いからです。人に話すことによって自分の思考回路が整理され、改めて良かった点とこれから変えていかなければならない点を浮き彫りにできると考えていました。そうすることで、人として成長したいという思いから、内定者アドバイザーをやりたいと思うに至りました。

### 山内 健輔さん ★シ

まず、感覚的にですが、アドバイザーをやって初めて就活に一区切りがつく、と思っていました。というのも、アドバイザーの仕事柄、自身の就活を振り返る機会が十分にあり、その機会を生かして、例えば「自分が面接で話していた志望動機などが、リクルート用に脚色されすぎてはいないか」、「面接用ではなく、自分が思う本当の志望動機はなにか」などと、内省することができるのではと考えました。個人的には、就活もやりっ放しではなく、振り返りの時間が必要だと思います。

加えて、霞が関の同期とのつながりを得たい、という理由も大きかったです。入省する前につながりを作って、内定者としての悩みごとなども相談したいな、と思っていました。

## アドバイザーとしてどのような活動をしましたか？

**沖 皐津紀さん ★** シ 合格体験記、面接・官庁訪問対策テキストの編集作業に主に携わりました。今年は官庁訪問体験記を思うように集められず、力不足を感じる点もありましたが、多くの LA にご協力いただき完成させることができました。自分自身何度も読みこみ非常にためになったテキストだったので、受講生のためにその編集に少しでも携わることができ、やりがいを感じました。また、定期的に行っていたこととしては、HR のレジュメ用に勉強スケジュールや官庁訪問の振り返りを書いたり、カウンセリング等の場で受講生の相談に乗ったりしました。

**尾崎 弘彬さん ★** シ 僕は HR 係だったので、守安君と一緒に毎月の HR の企画、運営を主に行っていました。毎月受験生の方と沢山お話ができてとっても楽しく、やりがいのある仕事でした。その他にも業務説明会の運営や試験監督、オリエンテーション等に参加し様々な場面で様々な方と接することができて非常に楽しく、かつ自分自身も勉強になりました。

**鈴木 悠花さん ★** シ 私の担当はテキストの編集作業でした。ただし、早い段階でおわってしまったので、それ以後は社員さんのお手伝い（アンケート集計、答練）やキャリアニュースのデザインを考える等していました。加えて、カウンセリングや HR に参加していたので、毎回異なる仕事を飽きることなくすることができました。

**中村 美理さん ★** シ 本社で行う事務業務のほか、各校舎のガイダンス・スタートアップ講義の手伝い、模擬面接の試験官、受験生の個別相談にのるなど、幅広い業務を経験させていただきました。月 1 回のホームルームでは、自分の体験談を失敗談含めお話しし、試験勉強、そして官庁訪問に少しでも役立てばいいなという思いで毎回臨んでいました。  
また私はシフト担当だったので、LA のシフト全般を決めたり、受講生と 1 対 1 で話す相談コーナーの日程や担当者を決めたりしていました。

**守安 剛崇さん ★** シ 私は主にホームルーム担当として活動していました。ホームルームは月に 3 回（オンライン、早稲田校、渋谷校（今年からは新宿校になります））実施しました。ホームルームに向けてレジュメを作成したり、どのようなコンテンツを盛り込むかを決めたりしていました。コンテンツを決めたあとは、自分で文章に起こしたり、内容によっては他のアドバイザーに書いてもらったりしていました。他には、各校舎やオンラインにて受講生の相談業務を行ったり、各種イベントのフォローアップを行ったりしていました。どれも受講生と非常に近い距離で活動させていただいたなど改めて実感しています。

**山内 健輔さん ★** シ 特に印象に残っているのは、「MAIL NEWS」の執筆と「Career News」の作成です。  
「MAIL NEWS」は、アドバイザーに裁量が多くあるので、内容や分量も自由に書くことができます。アドバイザーの中には、自身の失敗談を交えながら勉強のコツを書いている人もいて、私自身、受験生時代にやっておけばよかったな、と思わされる知見がいくつもありました。  
「Career News」も、アドバイザーが自由にテーマを選んで、記事を作成できます。例えば「若手職員へのインタビュー」という記事を書いた際は、インタビュアーの選定から原稿の編集・執筆まで任せていただき、かなり貴重な経験となりました。  
他の活動も決して単純作業を繰り返すものではなく、とても学びが多い仕事でした。

# アドバイザーになってよかったことを教えてください

## 沖 皐津紀さん ★

HR やカウンセリングを通じて受講生の方々の相談に乗り、その方々の不安を少しでも解消できたことです。特に、今年の受講生に私が受けた官庁を志望していた方が比較的多く、自分が実際に事前面談会・官庁訪問で体験したことを、HR やカウンセリング、官庁訪問シミュレーションを通じて、余すところなくお伝えできたと感じています。やってきたことが受講生の皆様のお力になっていれば、これほど嬉しいことはありません。また、自分の就職活動を振り返る機会を得たことで、今後に向けた反省点や入省前に今一度初心を思い返すこともできました。加えてパソコンの扱い方も向上し、4 月から働くための準備もできたと感じています。

## 鈴木 悠花さん ★

後輩の学生の皆さんと HR やカウンセリングを通じて交流できたことです。後輩の皆さんの姿に刺激をもらい、国家公務員としてどうあるべきか、内定先で自分は何がしたいのかについて考え続けることができました。また入省前から、他省庁、そして外務専門職の内定者とも仲良くなれたことも、LA になってよかったことです。大学 4 年生になってから新しい友人に出会うことは案外難しいことですが、TAC で同じ霞が関で働く仲間と学生生活の最後に出会えてよかったと思っています。

## 尾崎 弘彬さん ★

まずは、様々な省庁の内定者の LA と仲良くなったことです。外専 LA とともに同室で作業するので一緒にご飯を食べに行ったりジェットコースターに乗ったりアウトレットに行ったりと業務外でもたくさんのいい思い出を作ることができました！また、受講生の皆さんと話す機会が多いので、たくさんの方と知り合いになれたことも大きな財産だと思っています。将来霞が関でお会いした際は話しかけてください。さらに、パソコンを使った作業が多いので、入省前にパソコンにある程度慣れることができたのも非常に良かった点だと思いました。とても楽しくやりがいもあって為になる仕事なので、是非常勤 LA になることをオススメします！！

## 中村 美理さん ★

アドバイザーを務めた初期は、教養区分の二次対策の業務を担当していたのですが、私たちが主催したホームルームに参加してくれた受講生から合格報告があり、とても嬉しくやがいを感しました。また常勤アドバイザーは定期的に受講生と会う機会があります。一生懸命勉強と面接対策に取り組む受講生の姿を見て、私自身いつも受講生から刺激を受け、自分も頑張ろうと思っていました。さらには、4 月から同期になる他省庁の仲間と知り合うことができ、今後とても心強いなと感じています。内定者アドバイザーを務め、とても充実した半年間を送ることができました。ぜひアドバイザーを検討してみてください！

## 守安 剛崇さん ★

色々あるのですが、受講生と真摯に向き合えたことかなと思っています。受講生のみなさんとお話していると、非常に熱い思いやビジョンを持っている方がたくさんいらっしゃるって、こういう考え方もあるんだとか、自分も頑張らなきゃなと日々刺激を受けることができたような気がします。とはいえ、国総の試験に向けて一筋縄ではいかぬこともあるのも事実なわけで、ホームルームやカウンセリングを通して、一緒に悩んでどうしたらいいかを模索できたのは、この時期にしかできない非常に貴重な経験だったなと振り返って思います。

## 山内 健輔さん ★

まず何より、他者への貢献を実感できたことです。もしかすると、参考にならなかった話もあったかと思いますが、「受講生のみなさんのモチベーションを少しでもアップしよう」、「些細な悩みでも解決できるように話を聞こう」など、無い知識や経験をフル活用していました。そのなかで、貢献ややりがいを実感できる場面をいくつも経験させていただきました。そして、自身の就活を振り返ることで、良かった点と反省点が明らかになり社会人になっても活かせる学びを得ることができたこと、さらに、常勤 LA とのつながりができ、霞が関で一緒に働く仲間を見つけることができたことは、特に良かったですね。